

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
1	改革みしま 藤江康儀	どちらとも いえない		「8 その他の意見・要望等」に記載した各整備地の条件次第で決定したい。
2	改革みしま 土屋利絵	北田町 (現在地)がよい	その他① ですが、も う少しコン パクトにし てもいい のではな いでしょう か)	南二日町のほうは敷地面積が広いので、庁舎にしてしまうのは勿体ないのではないかと考えます。商業施設など他の機能が来たほうが、三島の町全体から見ても、さらに住み良い街になるのではないかと考えます。
3	改革みしま 古長谷稔	南二日町 広場がよい	配置計画 ⑤がよい	最大の理由は、コストの違いです。これからの市役所に、必要以上のお金をかける余裕はありません。イニシャル及びランニングを含めた80年間のLCC(ライフサイクルコスト)は、南二日町に建設した場合、建設費も含めて数十億円、低い費用で済むとの試算が示されています。無駄な仮設庁舎建設費用も必要ありません。その他にも、面積の圧倒的な違いから低層で建設できる点、平らな駐車場ででき不評な立体駐車場が不要な点、引越が一度で済み職員にも市民にも負荷が最小限に抑えられる点、水害に対しては対策をすれば心配は不要な点、防災拠点として活用し期待できる点、交通アクセスも国道と鉄道の結節点で利便性も確保される点などが理由として挙げられます。将来、人が行かなくて済むようになる新庁舎は、シンプルな作りで必要以上のコストをかけずに南二日町に建設する。一方で、浮いた原資を現在地の跡地等に投資して、商店街の皆様や若い世代のご意見も伺いながら、一定条件を付して民間事業者などに有効活用してもらうことで、中心市街地の活性化、にぎわい創出に貢献でき、明るい未来に向けた展望が描ける大きなチャンスと考えます。
4	改革みしま 沈久美	北田町 (現在地)がよい	配置計画 ③がよい	三嶋大社と中心市街地との位置関係を維持すべき。庁舎130年の歴史を振り返ってもこの距離感が保たれており、コンパクトなまちづくり、既存の公共交通網を活かすうえでも、庁舎をこの枠外にわざわざ置く必要性を感じない。配置計画を③としたのは低層部が広くとれ、駐車場台数が最少である点に着目したのみ。高層化には賛成できない。全4階程度でどうにかならないものか。駐車場は現台数程度で十分であり、立体駐車場は不要と考える。

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
5	改革みしま 秋山恭亮	どちらとも いえない		<p>どちらかといえば南二日町が良いと考えるが、北田町に建てるメリットも大きくある。南二日町に建設する大きなメリットは事業費が安く済むことがあげられる。北田町(配置計画①)と配置計画⑤(南二日町)を比較した場合約55億の差分がある。また、移転に伴う引っ越し作業も一回で済む、仮庁舎が不要というメリットも大きい。さらに南二日町に建設した場合、広い土地を使い自由度の高い設計が可能となる。再生可能エネルギーの活用、災害時の拠点利用、駐車場の平面化が大きなメリットであろう。将来的に大きな庁舎が不要となった場合も、広さがあるため他の施設として利用しやすいというメリットもある。中郷地区、錦田地区の市民にとってはアクセスしやすくなるというメリットもある。また北田町の跡地利用として、商業施設・観光施設・高層住宅建設等の選択肢をとることができることもメリットであろう。</p> <p>次に、北田町建設のメリットをあげる。 市役所の低層部分を商用利用・観光利用・市民活用スペースとすることにより、複合的な機能を持つ市役所を生み出すことができる。これは街中にあることを十全に利用したメリットであり、南二日町でこの機能を持たせるには、さらなる工夫が必要であろう。</p> <p>また、スケルトン・インフィル構造を採用することにより、時代に合わせて改変できる市役所とする基本方針があるが、これも街中に建設したほうが利用手法の選択肢が増えると考えられる。</p> <p>また周辺との歴史的・商業的な連携を維持できる。</p> <p>ただし、どうしても南二日町建設時に比べ高層になるため、平時の維持費がかさむ、災害時に使用が難しい階層がでるというデメリットがある。</p> <p>南二日町の大きなメリットであった事業費の削減は、北田町に建てた場合も建築方法、運用方法によってある程度可能になると考える。</p> <p>これから80年は利用する庁舎である。未来を見据えつつも、柔軟に対応できる庁舎を建設すべきだと考える。</p>
6	緑水会 野村諒子	北田町 (現在地)がよい	配置計画 ②がよい	<p>まちづくりの観点から、三島市は東海道の宿場町としての役割を終えた後も、三嶋大社を中心としてまちが形成されてきたが、庁舎がまちの賑わいの一角に存在していたことにより、コンパクトなまちづくりが可能となったと考えられる。</p> <p>近年はまちの中心地が空洞化する市町が多い中でも、三島駅、三嶋大社、広小路を結ぶ地域が賑わいを見せており、今後もこの地域の継続的な活性化は重要な施策となっていく。市役所庁舎には約1,000人の職員が勤務しており、日々庁舎に出入りする市民、関係者も入ると相当な人数の人の流れがなくなり、経済的にも、人の流れの賑わいにも大きなマイナスの影響が出ることが予想される。</p> <p>今回のサウンディング型市場調査では、庁舎をまちの中心地から移転した場合の、まちづくりへの影響、経済的な負の影響がしっかり示されていないので、事前説明ではこの点が課題であると思われる。</p> <p>三島市は、大きな企業が少ない中で、従業員が1,000人を超える(出入りを含めると)企業がまち中から郊外へ移転することを意味しており、このことへの議論がもっと必要ではないかと思われる。</p>

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
7	緑水会 佐野淳祥	北田町 (現在地)がよい	配置計画 ①がよい	<p>第一に、DXやMaaSが進む将来、広大な敷地を求め、所在地を変える意義が大きいと思えず、移転をすることによって市民間に遺恨と感情的な分断が残ることを懸念する。</p> <p>また、市役所は、市民に奉仕する職員が働く場所であり、規模の大きい庁舎を建設した将来にできる余剰スペースを、別のことに使用することを当初から想定することは、庁舎の機能から外れた見解である。</p> <p>第二に、南二日町広場(サッカー場、グラウンド)は暫定的な施設であり、今後閉鎖する長伏プールを含めた長伏公園を広域スポーツ施設として整備することを考えると、サッカー場などは、そこに併設することが自然である。南二日町広場は、国道一号線、国道136号線、伊豆縦貫道＝東名高速道路と隣接する交通の結節点なので、収入を生まない庁舎を建設するより、民間活用する方が三島市の活性化ならびに市税の増加につながるはずである。</p> <p>新庁舎の整備予定地については、より広大なスペースを必要とする根拠が薄いことから、現在地の北田町を求める。</p>
8	緑水会 甲斐幸博	南二日町 広場がよい	配置計画 ⑤がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設庁舎が不要 ・立体駐車場が不要 ・駐車スペースが確保しやすい ・低層階を広くとれる ・工事エリアを確保しやすい
9	緑水会 高田康子	北田町 (現在地)がよい	どれもい えない	<p>まずは、新庁舎の整備地を議員に問う前に、三島市で働いてくださる、職員の方々のご意見をお聞きしたい。</p> <p>三島市民に向けてのお気持ちは重々承知しておりますが、まずは、職員の方々の働きやすさ改革をしていかないと、十分な市民サービスはできないと感じます。</p> <p>職員の皆様は一番市民に近く、議員より色々なメリット、デメリットをお持ちだと思います。</p> <p>配置計画等は特にそうで、職員の方々の労働基準を今現在の庁舎は満たしてないと感じます。</p> <p>第一に、職員の方々も三島市民の方が多くと思います。その方々の希望を聞き、そこから配置計画を念頭に置き、スケルトンインフィル構造や使いやすい、時代にに合わせて変更、改革のできる形にしていく方がより良い庁舎、皆様と考えた庁舎になっていくと感じます。</p>

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
10	新未来21 川原章寛	北田町 (現在地)がよい	配置計画④がよい その他(配置計画②と同様に用地買収を行い、配置計画④をベースに西側に拡張の上、凹凸の解消とともに、低層化する。)	<p>整備地については、市域の中心に位置する現在地(北田町)が市内各地域からのアクセス性に優れており、適地と判断する。敷地面積が狭く、建設費やライフサイクルコスト等で不利な状況があるが、統合を計画している大社町別館に社会福祉協議会・高齢者いきがいセンター・一部事務組合等の機能を導入し、よりコンパクトな庁舎とすることにより、建設費とライフサイクルコストの縮減が可能であり、人口減少の進展やDXの推進等により新庁舎のスペースに余裕が生じた時点で前述の機能を統合し、大社町別館を売却すべきと考える。また、スマート・プランニングにおいて、現在地の活用の可能性が高く評価されているが、マンション建設に伴う居住＝夜間人口の増加と下層部の一部に導入される商業テナントによる交流人口の微増等、限定的な効果にとどまるものと思われ、休日・夜間等の閉庁時においても、交流スペース・会議室・トイレ等が利用可能な設計とすることにより、利便性の向上と中心市街地の活性化に貢献できるものとする。</p> <p>配置計画については、建設費やライフサイクルコストの縮減を図るため、凹凸を解消し、低層化を図るべきと考える。このことにより、低層階に市民ニーズの高い窓口を集中的に配置でき、分かり易く、導線の確保を図ることもできる。</p> <p>一方、南二日町広場については、南二日町駅の目の前ではあるが、駿豆線の沿線以外からの公共交通によるアクセスは困難であり、DXが推進されたとしても対面による相談等の需要は残存するものと推察され、高齢者や障がいのある方等、交通弱者と言われる方々も平易に訪れることが可能な立地とは言えない。また、一定の浸水対策が計画されているが、これまでも近隣地域では低地の浸水や冠水等が発生し、昨今では、旧下田街道の国道1号線との交差部付近の水路が溢れるほどの状況もあり、線状降水帯による豪雨等を想定するとリスクが高く、防災拠点としての機能についても懸念がされる。この課題を解消するためには、抜本的な治水対策が必要不可欠であり、グラウンドまたはサッカー場の代替地の確保や整備等に要する費用も含めて、費用的にも優位とは言えない。更に、取得が困難な借地も残存しており、市職員駐車場としての活用による駐車場使用料と借地料の相殺が想定されているが、職員数の削減や健康と環境に配慮した通勤手段の選択も考慮すると、将来的に担保されるものではない。</p>

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
11	新未来21 岡田美喜子	南二日町 広場がよい	配置計画 ⑤がよい	<p>・南二日町の理由 コスト面(駅前再開発等においても補助金等のコスト面を重視し、将来負担を極力削減するよう求めてきた) 北田町に建設した際の仮設庁舎建設や移転等について、施設整備や引っ越し等、計上されていない経費がかかる。また、市民サービスの低下が懸念される。 三嶋大社から南二日町までの下田街道の再整備による賑わいが期待できる。</p> <p>・配置計画の理由 サッカー場の再整備が不要となる。 今後、サッカー場を長伏グラウンドに野球場等と集約した際、跡地は国道沿いであることから、まちの活性化のための活用が期待できる。</p> <p>・整備地及び配置計画について、意見は述べるが、整備地がどちらになっても市民や議会等が賛成派、反対派に分かれるような状況を作るべきでないと考える。有識者や自治会、企業、まちづくり団体等で構成された有識者会議に諮問する形で、今後のまちづくりを考えうえでの専門的な見地から協議されることを要望したい。</p>
12	新未来21 宮下知朗	北田町 (現在地)がよい	配置計画 ①がよい 配置計画 ④がよい	<p>ライフサイクルコストや敷地面積が広いことによる計画の自由度、スマートプランニングの結果などから考えると、南二日町のほうが将来性や魅力を感じるものの、洪水浸水想定区域であることのほか、移転に伴う中心市街地および南二日町周辺地域に及ぼす影響など懸念事項も多いことから、将来抱えるリスクも大きいものとする。</p> <p>どちらも一長一短あり判断が難しいが、整備後80年間利用することを想定すると「市民の皆様にとって利便性が良く愛着をもってもらえる」場所が望ましいと考えており、先般行われた議会報告会ではどの会場においても「北田町」を推す声が多かったことのほか、北田町整備において最大の課題である費用面については庁舎・立体駐車場規模を見直すことにより圧縮(価格差を極小化)できる可能性は高いものと推察することから、現時点においては北田町のほうが整備地として相応しい立地ではないかと考える。</p>
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	北田町 (現在地)がよい	配置計画 ①がよい	<p>コンパクトシティ型の都市の開発と居住誘導により、現在地は中心市街地との接点及びまちづくりが地元地域、商店街、飲食店ともできあがっていると感じる。今後の移動手段である小型モビリティやIoT更にはDXの推進により、市内のどこに居住しても偏りのない市民サービスを受ける事ができるようになると思われる。その上で、支所機能としての北上文化プラザ、中郷文化プラザの役割については、更なる支所機能の充実が求められる。支所においてもあたかも本庁舎に来ているような相談もできるのではと考える。</p> <p>南二日町エリアは旧南高校跡地であり、現在地より面積が広い、仮庁舎の必要がない点は優れる。しかし河川が近く、現在地より標高が低くなる、庁舎移転の場合は盛り土が必要、雨水の貯溜、水の流れや大場川・御殿川への河川への影響などが心配される。地盤の強度も確認する必要がある。南二日町エリアは防災拠点としては考慮する点が複数あると考える。ちなみに(現在地(北田町)標高25m 南二日町 標高19m 藤代町 標高15m)のように、南二日町より藤代町が更に標高が4m低いことから、南二日町に建設した場合の水の影響は避けられないと考える。</p>

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
14	新風会 石井真人	北田町 (現在地)がよい	配置計画 ④がよい	<p>三島商店街連盟や市内の各商店街、田町地区町内会連合会より、北田町(現在地)に残して欲しいという要望もあり、さらに、北田町(現在地)は、洪水浸水想定区域のハザードマップのエリア外、浸水リスクも南二日町広場に比べて低く、配置計画④は、すべての配置計画の中で、最も庁舎建設費が安い。</p> <p>一方、南二日町広場建設案は、洪水浸水想定区域のハザードマップのエリア内に位置し、庁舎の浸水を避けるために、盛り土をし、その上に構造物をつくることについて、南に位置する藤代町内会より、周辺地域へ浸水被害の助長をする懸念があるとの声が上がっている。さらに、地球温暖化の影響により、洪水浸水リスクが高まる中、1,000年に一度の災害が世界各地で発生しており、南二日町広場周辺の地域住民の生命・財産を守る意味でも、このエリアへの建設を避けるべき。</p>
15	新風会 横山雅人	その他 (中郷文化プラザに建てる)		<p>将来的な広域合併を考えると中郷地区が都合がよいと考える。コンパクトでシンプルな建物とする。計画地の近隣地の利用もしやすい。</p>
16	新風会 永田裕二	南二日町 広場がよい	配置計画 ⑤がよい	<p>整備地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コスト面 ○既存庁舎等跡地の有効活用が可能 ○二日町駅周辺の活性化 ○引越しが1回となり職員の負担軽減 ○調整池整備により大場川の流域治水に貢献できる可能性がある ○観光バス駐車場整備によりまびす参道の活性化の可能性はある <p>配置計画⑤について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サッカーコートの新設が不要になる ○借地部分の返還又は買取の可能性が残される ○国道からの乗入れ整備の可能性が残される
17	維新と無所属の会 弓場重明	北田町 (現在地)がよい	どれともいえない	<p>北田町がコンパクトで良い。</p>

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	北田町 (現在地)がよい	どれもいえない	<p>【大前提意見】 向こう30年を前提に作成された公共施設総合計画において、大規模修繕を迎える前に、新築に建て替えれば、大規模修繕費用がかからなくて済む、という下でこの新築計画が進められている。 しかしこの人口減少、財政圧迫、先行きが見えない中で、市役所庁舎含む、今あるものを大事に使い、税金を無駄に使わない姿勢が三島市にも求められている。 向こう30年で考えれば大規模修繕をする前に新築で建て直した方が得、ということは理解できるが、三島市は30年後で終わるわけではない。一年でも五年でも現庁舎を長く大事に使って、必要最低限の庁舎とはなにか、まだまだ時間をかけて議論をしていくことが必要であるとする。 ただここから以下は、示された資料を基とした意見を述べることとする。 配置というよりは、いずれも資金計画に疑問が残る。(以下①②で説明)</p> <p>①本庁舎建設費 どちらの候補地に建設するにしても、建設単価230万円/坪、は異常に高い。国交省基準であれば、おおよそこの金額でも当てはまると思うがこの基準が地域情勢に当てはまっているのか、大変疑問。</p> <p>②立体駐車場建設費 また北田町における立体駐車場の維持費もまた異常に高く算出されているように見受けられる。 9月本間一般質問で、 ●三島駅前再開発立体駐車場 418台、管理運営費2,500万円/年 としている。 新庁舎に関する最新資料で、 ●新庁舎立体駐車場 平均値67台、保全費運用費平均値6,270万円/年 としている。</p> <p>ここで留意しなければならないのは、駅前管理運営費、新庁舎は保全費、運用費と名目が違うこと。しかし駅前については今後の収支予想についての当局からの答弁なので、すべてのランニングコストが含まれるものと考え、単純に駐車台数単価で割っても、15倍もの差が生まれる。 勿論、建設規模が少ない新庁舎立体駐車場の方が単価は高くなることもあるとしても、果たして15倍もの差が生まれるものなのか、当局に確認する必要がある。</p> <p>【要約】 あくまで一部だが、このように資金計画において、まだ調査不足、確認必須のため、資料中の計画から選択するのは困難。 また南二日町はまだ借地料(年間2,800万円)問題、グラウンド代替地問題を議論しなければならない。 北田町は現段階でおおよその問題点が最大限に表されている。 よって現段階では北田町が適切だと考える。</p>

1 新庁舎の整備予定地及び配置計画に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	整備地について	配置計画について (複数可)	整備地・配置計画について、回答の理由、意見・要望等
19	日本共産党 議員団 服部正平	どちらとも いえない		現在の館内(各課)・駐車場スペースは庁舎が持つべき機能、市民サービスの点から発揮しているとは言い難い。しかし、今後デジタル化が進むことで来庁をしなくても良い環境になることを考えれば、来庁して受けられる市民サービスは北上文化プラザ、中郷文化プラザ、錦田公民館の整備を進めることで役割を果たせる部分が多いものとする。となれば北田町の敷地面積でも十分である。しかし、防災拠点含め複合施設的な要素を必要とするのであれば多面的に対応可能である南二日町広場が優位と考えます。 将来市民が庁舎に何を求めているのか改めてパブリックコメントに寄せられた意見を拝読し整備地については考えたい。
20	日本共産党 議員団 河野月江	どちらとも いえない		南二日町で建設する場合の災害リスクについて、専門家の知見も得ながらのシミュレーション実施による安全性の立証を待ちたい。 南二日町で建設する場合の交通アクセス確保のためのプランと、必要なコストについて見極めたい。 北田町で建設する場合の、駐車場確保のための新たな方策(例:地下駐車場や1階部分駐車場化)の可能性の有無と、そのためのコストを見極めたい。

整備地について	人数	割合
北田町(現在地)がよい	13	59%
南二日町広場がよい	4	18%
どちらともいえない	4	18%
その他	1	5%
合計	22	100%

2 新庁舎の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の規模について、公共施設保全計画に基づく13,234㎡(社人研ベース将来職員数に基づく新営一般庁舎面積算定基準を根拠にしたものとほぼ同じ)を目途に進めるとしていることについて	新庁舎の規模についての回答の理由、意見・要望等
1	改革みしま 藤江康儀	妥当	現状から考えて、将来人口が減少することが予想される中、床面積がそれほどいらなくなるのが予想される。 よって、将来違う目的に使用することができるようにするため、敷地面積は現状通り必要であると考えます。
2	改革みしま 土屋利絵	もっと小さく(狭く)すべき	
3	改革みしま 古長谷稔	妥当	将来的に庁舎として使用する床面積は、必然的に小さくなっていくのは明らかです。しかしながら、一定の職員数を一定期間かかえながら、当局運営をしていかなければならないのも当然です。将来的に時代のニーズに応じた別目的で床利用できるように、構想段階から配慮して、基本方針に入れておくべきではありますが、今示されている規模は当面必要となると考えます。近年共用開始した他市町の新庁舎も参考にしながら、基本計画の段階で、可能な限り小さい規模にする努力を惜しまない姿勢が求められます。
4	改革みしま 沈久美	もっと小さく(狭く)すべき	気象、災害、環境、経済、国際情勢など、何が起きるかわからない時代に柔軟に対応できる超コンパクトな庁舎を求めたい。窓口を広くとることよりも、緊急時における市民の安全、健康、ゆとりを寄与するものであるべき。地下シェルターの構想がないが入れるべき。
5	改革みしま 秋山恭亮	妥当	現状の情報においては妥当であると考えます。 前述のスケルトン・インフィルの建築方法を採用し、将来的に一階スペースを市民活用スペース、商用スペース、観光施設等に容易に変更できるよう考慮するのであれば、現在のベースを元に建築することは良いと考える。しかし、「将来何年にどこをどのように構造変更する」という計画は予め検討しておく必要があると考える。
6	緑水会 野村諒子	もっと小さく(狭く)すべき	本来の庁舎機能だけで良いと考える。DXの推進等で執務スペースはフリーとし、会議室は可動式壁等により使いやすいものを増やすべき。 食堂は経営が成り立たないので、必要ではない。周辺の飲食店を利用すべき。しかし、場合によってはコンビニ、市民も利用できるフリースペースは必要。 「3 新庁舎整備の基本方針」で、答えた通り、保健センター、社会福祉会館、市民活動センター、子育て支援センター、シルバー人材センター、防災センター機能等を無理に入れる必要はなく、そうすることで広さも抑えられ、駐車場も現在地で十分である。 防災機能は、大規模災害を考えた場合、庁内の対策本部は市役所内に置くことが望ましいが、自衛隊、警察、ボランティア受け入れなどを考えたスペースは、相当な広さのスペースが必要となるが、それは、庁舎の近くにある必要はなく、郊外でも良いと考える。

2 新庁舎の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の規模について、公共施設保全計画に基づく13,234㎡(社人研ベース将来職員数に基づく新営一般庁舎面積算定基準を根拠にしたものとほぼ同じ)を目途に進めるとしていることについて	新庁舎の規模についての回答の理由、意見・要望等
7	緑水会 佐野淳祥	もっと小さく(狭く)すべき	4つの各地区防災センターは、それぞれ小学校などに併設をしていくと考えられますが、新庁舎に200坪も必要なのか、食堂も配置するのか、また、社会福祉協議会が福祉業務の手助けになることは理解できますが、200坪を超えるスペースが必要なのか。そこがそこまで必要でないのなら、駐車場を確保でき52億円もかかる立体駐車場を建設しなくても済むのではないかと。伊丹市のようにDXによる書庫の削減や、不要なスペースを徹底的に洗い出した結果の数値が必要と考える。
8	緑水会 甲斐幸博	妥当	新営一般庁舎面積算定基準による、18,093㎡から約5,000㎡が縮減されるが、AI・RPA・ペーパーレス化などの様々なDX技術を、積極的に活用し、業務の効率化とスリム化を図ることで、延べ床面積の削減が可能になるとの事、しっかりと考えての規模と考えます。
9	緑水会 高田康子	わからない	人口減少、市役所に来る必要がない市役所にするのであれば、妥当かどうかの判断はつきかねます。活用とセットで考えないと偏った考えになると思われます。
10	新未来21 川原章寛	もっと小さく(狭く)すべき	将来的な人口減少やDXの推進を踏まえ、建設費やライフサイクルコストを縮減するため、規模を更に圧縮すべきと考える。具体的には、統合を計画している大社町別館に社会福祉協議会・高齢者いきがいセンター・一部事務組合等の機能を導入することにより、規模の圧縮が可能と考える。また、ペーパーレス化やユニバーサルレイアウトの導入等により、キャビネットの廃止や印刷機器の統合を図り、書庫や倉庫は統廃合できない公共施設を活用することにより、更なる圧縮も可能と考える。議場についても、平坦でフレキシブルなバリアフリー構造とし、議会閉会中は会議室や市民交流スペース等として活用ができるようにし、規模の圧縮を図るべきと考える。
11	新未来21 岡田美喜子	もっと大きく(広く)すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・統合される施設の延べ床面積が低く抑えられているが、新庁舎における会議室の確保が懸念される。社会福祉会館は特に会議室の利用が多い状況にある。 ・多目的に使用できる会議室 ・時間外も利用できる会議室を要望したい。

2 新庁舎の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の規模について、公共施設保全計画に基づく13,234㎡(社人研ベース将来職員数に基づく新営一般庁舎面積算定基準を根拠にしたものとほぼ同じ)を目途に進めるとしていることについて	新庁舎の規模についての回答の理由、意見・要望等
12	新未来21 宮下知朗	その他(中長期的には妥当と考えるが、供用開始直後から一定期間は狭隘となる可能性が考えられる)	13,234㎡は、社人研が示す令和47年度の将来推計人口をベースとした将来職員数に基づく新営一般庁舎面積算定基準を根拠にしたものとほぼ同等であり、庁舎機能以外の機能の複合化を想定していることから考えると、供用開始直後から一定の期間、現在抱える課題の1つであるスペース不足の解消には至らない可能性が想定される。 あくまで敷地面積の最小化を達成するための目標として設定し、今後詳細を検討する過程において適正規模についてはしっかりと見極めていただきたい。 なお、現在地(北田町)となった場合は、耐用年数に余裕のある大社町別館を有効活用することにより、現在掲げる規模で整備しても複合化のメリットをある程度享受しつつスペース不足を解消できる可能性があるものとする。
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	妥当	これまでのフロア規模、一人あたりの面積・必要な施設などからの算出は今の所妥当と考えるが、これからの市役所整備方針に三島市のスマート市役所宣言から4年が経過し、オンライン申請の選択肢が増えるので、市庁舎のコンセプトであるに市役所に来なくていい市役所を目指す。 これからの国の強力なデジタル、DX推進によりこれまで市役所に足を運ぶ必要のある手続きも減らしていく。来なくていい、書かなくていい、待たなくていい。の実現に向けて。市民のための将来の市役所機能をどのように考えていくのか。 ※社会福祉協議会・保健センター・コミセンについては統合する事により他の利用者もあるので、混雑し利用しにくくなるのではないかと懸念する。
14	新風会 石井真人	その他(新庁舎の規模を再検討すべき)	施設規模は、既存の施設の延長上ではなく、DXの推進を前提とした未来の市役所として再検討すべき。既存の考え方を見直し、ワンストップ窓口対応、ペーパーレス化、職員のフリーデスク化、市民の足となる新しい公共交通の活用等の新たな考え方を盛り込み、さらに、三島市新庁舎整備に関するワークショップに参加した市民からの意見であった「市民が集うDXを推進した庁舎」という基本方針を盛り込み、新庁舎の規模を再検討すべき。
15	新風会 横山雅人	もっと小さく(狭く)すべき	様々な技術の進歩や人口規模の変化に伴う将来的な余剰空間の利用を考えて造るなら初めから余剰空間が出ない設計をすべきである。 駐車場も然りである。
16	新風会 永田裕二	妥当	○将来のニーズの変化は不透明で早い、現時点では妥当。可変性や拡張性のある、ゆとりを残した整備計画が必要
17	維新と無所属の会 弓場重明	もっと小さく(狭く)すべき	基本方針は三島市総合計画に乗っかってお考えになると良いと思います。

2 新庁舎の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の規模について、公共施設保全計画に基づく13,234㎡(社人研ベース将来職員数に基づく新営一般庁舎面積算定基準を根拠にしたものとほぼ同じ)を目途に進めるとしていることについて	新庁舎の規模についての回答の理由、意見・要望等
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	わからない	これからどのような機能を入れるかによって変わると思う。 より分散型、オンラインにより執務スペースを含む床面積は縮小すると思うが、これまでの市役所にはなかった用途(市民スペース、民間利用スペースなど)をどれだけ入れ込むかによって、規模はかなりの幅をもって変化するため、「わからない」を選択。
19	日本共産党 議員団 服部正平	わからない	
20	日本共産党 議員団 河野月江	もっと小さく(狭く)すべき	デジタル化が進むもとでは、さらなる縮小が可能ではないか。 現在ある4つの公民館の機能充実も併せて検討すべき。

庁舎規模について	人数	割合
妥当	8	36%
もっと大きく(広く)すべき	1	5%
もっと小さく(狭く)すべき	8	36%
わからない	3	14%
その他	2	9%
合計	22	100%

3 駐車場の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	駐車場の規模について、現在の人口からの算定値と約40年後の社人研ベースの将来人口からの算定値の平均を基に240台としていることについて	駐車場の規模について、回答の理由、意見・要望等
1	改革みしま 藤江康儀	妥当	現時点では妥当と考える。しかしながら人口減少が予想され、車社会からの脱却等もあると思う。多目的に利用可能とすることも必要である。
2	改革みしま 土屋利絵	もっと減らすべき	まわりの民間地を借入し、公用車をおくことなどを含め、車で来庁しないでもいいDX、歩いて楽しくなる街づくり、デマンド交通などの交通機関の充実などをすすめていくなど、時代に合った試行錯誤をしながら、駐車場はできるだけ減らしていくことが必要。
3	改革みしま 古長谷稔	妥当	現時点での想定としての駐車場台数240台は、妥当と考えます。日頃利用している本庁舎の本館と西館を合わせた床面積は、合計して6,470㎡程度ですから、新庁舎の13,234㎡は、現在の市役所に比べて2倍を超える床面積を一つの建物に集約することを意味します。当然、職員も利用する市民も、これまで以上に多く来庁することになり、駐車場も今以上に必要になりますので、積み上げた台数240台は妥当と考えます。なお、将来、必要性の変動が見込まれる駐車場については、別目的で土地を使える可能性を残す意味でも、可能な限り平地のまま駐車場として利用していくことが望まれます。
4	改革みしま 沈久美	もっと減らすべき	算定基準が古いため。来なくても良い庁舎の徹底追求を求めたい。
5	改革みしま 秋山恭亮	もっと減らすべき	【北田町に建設する場合】 一般利用(有料)が見込まれる。ただし240台とせず180台の平面駐車場でまかなうのがよいと考える。立体駐車場は建設せず、多くの駐車場が必要と算定される現在～10年程度は民間の駐車場を借りるか市営駐車場を利用し、公用車をそちらに停めるといふ工夫をすべき。ただし、北田町建設時に商業スペースや観光スペースを併設した場合、一時的な駐車場の圧迫は想定できる。 【南二日町に建設する場合】 広い敷地を確保できるので、240台でも構わないが、将来多くの駐車場が不要となった時の利用方法も検討したい。

3 駐車場の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	駐車場の規模について、現在の人口からの算定値と約40年後の社人研ベースの将来人口からの算定値の平均を基に240台としていることについて	駐車場の規模について、回答の理由、意見・要望等
6	緑水会 野村諒子	もっと減らすべき	<p>北田町に建てる場合は、173台で良い。もし足りないようであれば近隣駐車場を利用するか、現中央町駐車場を利用する。民間経営になったとしても駐車場としての機能を残すことを条件にする。(職員用はそこにする)</p> <p>仮に立体駐車場とした場合の1台当たりの面積を40㎡にして計算してあるが25～30㎡で良いと思われる。</p> <p>このように、今回示された広さが、全体に必要以上に広く想定されていないか、検証すべきと考える。</p> <p>社会福祉協議会、保健センター、市民活動センター、シルバー人材センター、子育て支援センターなどは、廃校跡地などに移転することで、これらの施設の広い駐車場が確保できる。</p>
7	緑水会 佐野淳祥	わからない	<p>「2 事業費及びライフサイクルコスト」のライフサイクルコストと連動するので、回答済みだが、そもそも現在の310台、40年後の188台の計算元となっている数値が、半世紀も前のものであるということが、非現実的である。半世紀前とは生活スタイルが違い、これから数年後も大きく変容しようとしている中、なにをもって、この数値が正しいといえるのだろうか。</p>
8	緑水会 甲斐幸博	妥当	<p>現在の人口から算定した場合、310台となりますが、AIやRPAといったDX技術の推進により、来庁者数の減少や滞在時間の短縮が図られ、駐車場台数の軽減が図られるほか、個別に配置されていた公用車についても、庁舎機能の統合によって、台数を削減できるものと考えられることから、およそ40年後の将来の人口推計から算定した、188台との平均を基に、およそ240台に駐車場台数を絞り検討したとの事、240台は妥当と考えます。</p>
9	緑水会 高田康子	わからない	<p>駐車場の混雑は一過性のものだと思います。</p> <p>新しい市役所のコンセプトは市役所に来る必要がない市役所だとし、これからもオンライン化が進むのであれば、まだまだ未知の世界。</p> <p>これからの高齢化社会で免許返納等の世代を考えると、駐車場より、オンデマンドバス等の仕組みも視野に入れて考えていた方が良いのではないかと？</p>
10	新未来21 川原章寛	もっと増やすべき	<p>現在の人口からの算定である310台に対して、240台では供用開始から当面の間、慢性的な駐車場渋滞が危惧され、充分とは言えない。市営中央駐車場を売却する際に、一定期間の駐車場としての土地利用を条件に付し、公用車の車庫として活用することにより、駐車場の規模拡大は最小限にとどめるべきと考えるが、数十台分の拡大が必要と考える。そのためには、東高西低の土地形状を生かし、西側の市道沿いに二層の駐車場の整備も可能と考える。</p>

3 駐車場の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	駐車場の規模について、現在の人口からの算定値と約40年後の社人研ベースの将来人口からの算定値の平均を基に240台としていることについて	駐車場の規模について、回答の理由、意見・要望等
11	新未来21 岡田美喜子	もっと増やすべき	<p>・統合される保健センターや社会福祉会館等における駐車場について、行事の開催によっては駐車場の混雑がみられる。今後のDX推進により来庁者減少は考えられるが、今後も一定数の来庁者があるものとする。本庁舎等の混雑状況を見ると余裕を持った駐車場を確保したい。(将来的に車の利用台数が減少と思われるが、現状の混雑状況を勘案すべき)</p> <p>・管理維持・適正利用のための有料化を検討するとともに、来庁者には減免措置をされたい。</p> <p>・交通弱者への対応として、より一層の交通アクセスの確保をされたい。</p>
12	新未来21 宮下知朗	妥当	<p>公共施設保全計画に掲げる新庁舎のコンセプト「市役所に来る必要のない市役所」による期待効果や庁舎施設規模の考え方との相違を感じるものの、来庁時に利用する交通手段として自家用車が最も多く、市民アンケート調査からも駐車場利用に課題があることから一定の配慮がなされているものと理解する。</p> <p>仮に北田町に整備することを想定すると閉庁時に有効利用することで中心市街地の賑わい創出につながる可能性が考えられることや、建設費用・維持管理費用ともに削減の余地が高いと考えることから、その用途や費用については更なる検討をお願いしたい。</p>
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	妥当	<p>市民アンケートなどから、駐車場が足りないとの意見に基づき、これまでの利用時間、混雑時期などから算出された事は理解します。</p> <p>その上で、来庁される方の頻度が多い方についての原因究明をする事により来庁頻度を減らす事ができるのではないかと。移動手段については、車ではなく他の移動手段に変化していく事の考慮など今後についても精査していく事が必要と考える。</p>
14	新風会 石井真人	その他(市営中央駐車場と併用すれば、庁内敷地の駐車場は、平置きで約180台で十分。)	<p>市営中央駐車場と併用すれば、庁内敷地の駐車場は、平置きで約180台で十分。庁内敷地180台(内 来庁者用150台、公用車30台)、市営中央駐車場に、公用車60台とすれば、全体として240台まかなうことができるので、追加の費用で掛かる約9億7,000万円の立体駐車場は必要ない。</p>
15	新風会 横山雅人	もっと減らすべき	「4. 新庁舎の規模」に同じ。
16	新風会 永田裕二	妥当	○将来のニーズの変化は不透明で早い、現時点では妥当。可変性や拡張性のある、ゆとりを残した整備計画が必要
17	維新と無所属の会 弓場重明	もっと減らすべき	<p>基本方針は三島市総合計画に乗っかってお考えになると良いと思います。200台から始め、段階的に減らす方が良いと思われます。</p>

3 駐車場の規模に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	駐車場の規模について、現在の人口からの算定値と約40年後の社人研ベースの将来人口からの算定値の平均を基に240台としていることについて	駐車場の規模について、回答の理由、意見・要望等
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	妥当	240台の駐車台数を確保することに一定の理解はできるが、あくまで最大値であり、また公用車も含んでいることから、全てを敷地内に集約する必要はないと考える。 立体駐車場という償却資産でカバーするのではなく、北田町近隣の市民とも土地売買交渉をし、市の資産とし暫定的に平置き駐車場として利用していくべき。 あくまで土地なので、資産として残るので、そうした近隣市民との交渉も同時並行すべき。 それにより固定資産税収が減少するとの言及については、立体駐車場が不要になるので、気にすべき問題ではない。
19	日本共産党 議員団 服部正平	わからない	
20	日本共産党 議員団 河野月江	妥当	市民が現在最も不便と感じている駐車場不足について、新庁舎において同じ課題を残してはならない。 仮に通常時においてスペースに余裕が生まれれば、他の目的で有効活用することができる。

駐車場規模について	人数	割合
妥当	10	45%
もっと増やすべき	2	9%
もっと減らすべき	6	27%
わからない	3	14%
その他	1	5%
合計	22	100%

4 新庁舎の事業費及びライフサイクルコストに関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の事業費及びライフサイクルコストに関する意見・要望等
1	改革みしま 藤江康儀	初期費用を抑え、建設コスト削減に努めること。
2	改革みしま 土屋利絵	40億円が現在地の方が高い印象を与えてしまうのは良くないと思います。立体駐車場の管理費、年間5,000万円もかかるとは思えませんが、5,000万円掛ける80年で、40億円と、建物本体ではなく、立体駐車場の管理費で40億円の差がでてしまっていますので、そこは実際にかかる管理費の検証と民間や市民の方に駐車場を貸すなど運営の仕方を考えていくことが必要に思います。さらに庁舎の面積にしても、本当にそれだけの面積が必要なのか、再度の検証を要望します。既に職員の席を設けていないフリーな空間の庁舎が出てきていますし、時代は間違いなくそちらの方向にむかっています。大きいものをつくるより、できるだけコンパクトに事業費をかけず、他への転用も可能な作りにした方がいいと思います。
3	改革みしま 古長谷稔	建設時にかかる事業費もさることながら、80年使用する前提で構想をつくる以上、ライフサイクルコストは極めて重要です。インシヤルコストだけでなく、主にメンテナンスに伴うランニングコストを当初から算出することは当然で、将来変動はあるとしても、現時点での見積を可能な限り正確に出していく姿勢が、市民への説明として必要だし大切です。今のところの試算結果によると、北田町(現在地)では、概算で約48億～85億円、南二日町広場よりも余分に費用が必要になると示されています。立体駐車場の運用にかかるコスト差が大きく、棟の分割や高層化による建設費、運用、保全のコストもかさむ違いが出ている結果で、当然今後の精査が必要となる数字ですが、80年で数十億円の差が出ることは回避しがたいと考えます。しかもこの中に、仮設庁舎の費用は計上されておらず、北田町の場合には更なる支出が発生します。
4	改革みしま 沈久美	概算値であり今の段階での比較は難しく、80年分の金額を出す意味もよくわからない。事業費については抑えられるのなら抑えるべきだが、市としていくらまでなら無理なく出せるのかのほうのことが大事。その予算に応じてできるものを作れば良い。
5	改革みしま 秋山恭亮	事業費・LCCに関しては、極力抑えるべきだと考える。大前提として、市役所機能を一本化し、建物の維持費・運用費は可能な限り削減していくことが必要である。また、PPPやPFIの活用をしっかりと検討していただきたい。これからの時代、企画・設計・建築・管理・運営を市のインシヤティブのみでやっていくのは困難を極める。ファシリティマネジメントの面を考えても、建物に関しては三島市のみの所有・管理としない手法は模索すべきである。 また、民間の利便施設を入れた場合の地代家賃・再生可能エネルギー収入も算定し考慮の材料にしていくことを求める。
6	緑水会 野村諒子	ライフサイクルコストについて・・・建物管理から見たコストであり、この数値だけを強調することは問題があるのではないかと考える。庁舎を現在地にするか、郊外に移転するかは、人の流れだけでもはかることはできず、コンパクトなまちの求心力をどこに置くかという重要な要素に関係しており、数値では簡単に測れないものでもあることも、議論すべきであると考え。現在地に建て替え・・・仮庁舎費用が掛かるが、庁舎を2棟にすることで、利用しながら建て替えることができるので、そうすべきと考える。 ライフサイクルコストが、南二日町広場より費用負担が大きいとされているが、まちづくりの観点からのまち全体の経済的影響を考えると三島市のまちづくりの活性化への影響は少ない。移転する場合には、大きなダメージとなると考える。 南二日町広場・・・ライフサイクルコストが、現在地より安いという数値が示されているが、建物保存だけの金額の比較であり、この数値を強調するだけでは、判断することはできないと考える。浸水に対する取り組み費用が示されているが、嵩上げしたとしても大雨のたびに出入りする車の浸水への影響も考えられるので、このコストについても、もう少し、議論が必要であると考え。

4 新庁舎の事業費及びライフサイクルコストに関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の事業費及びライフサイクルコストに関する意見・要望等
7	緑水会 佐野淳祥	<p>新庁舎を現在地と南二日町で比較した際に、事業費やLCCで52億円もの大きな差が出ているのが、立体駐車場の設置が大きな要因です。</p> <p>まず240台分の駐車スペースが必要とした計算方法が問題です。</p> <p>岡田光正氏(1929年生まれ)の「最大滞留量の近似的計算法」と、関龍夫氏(1924年生まれ)の「市-区-町役場の窓口事務施設の調査」を採用して算出するのは理解できるが、9月議会の答弁でも、計算数値に用いた、滞留時間20分と来庁者窓口利用率0.9%は、昭和の時代のもものと明かしている。半世紀前の数値が時代とともに変化した市民生活に対し、全く同じ数値を用いることに疑問を抱かなかったのか、甚だ疑問だ。実際に実地調査をした他市によると、集中率は従前の30%ではなく、20%であったことが分かった。</p> <p>2023年8月1日に実施された議員説明会の資料では、この計算式を用い、現在の人口では310台必要、40年後の人口では188台必要、なので平均値をとり、8年後は240台とした。と明文化され、単純に人口減少から導き出していると思われるが、翌月の議会答弁では、DX技術も加味している、とあった。DXなど欠片もない昭和の時代の数値を用い、どのように加味したのか、見当もつかない。実証データもない中で、駐車場不足を煽り、LCCで52億円も余計にコストがかかる北田町は不適合だと印象付ける広報への掲載、議会や市民への説明は不誠実だと思われる。</p> <p>それでも240台の駐車場が必要な場合、公用車を市営駐車場に駐車し、市営駐車場を売却せず保有し続けた場合と、立体駐車場を建設した場合とを比較すると、どちらが有利なのか。当局が必死に喧伝するLCCは、信憑性が疑われる。</p>
8	緑水会 甲斐幸博	
9	緑水会 高田康子	<p>ライフサイクルコストに関しても、正直、北田町のデメリット、南二日町のデメリットが平等に記されているとは思えない。</p> <p>まだまだ、予算的に色々な兼ね合いで、南二日町のデメリットを表示するところまで行っていないことも理解いたしますが、南二日町の借地の件に関しては、庁舎が建ってしまうと、未来永劫『三島市が』払い続けなければならないようになってしまう。</p> <p>はたまた、国道1号線に繋がる緊急車両用のアーチ部分の建設等、比べられないことから、まだまだ、改革変革の余地はあるように感じ、今ある情報だけでは、正しいライフサイクルコストは算定できないと思います。</p> <p>今後の庁舎のあり方を考えると、コストの面は特に慎重に見ていきたい。</p>
10	新未来21 川原章寛	<p>統合を計画している大社町別館に社会福祉協議会・高齢者いきがいセンター・一部事務組合等の機能を導入し、よりコンパクトな庁舎とすることにより、建設費とライフサイクルコストの縮減を図るべきと考える。また、構造を平坦かつ低層化することにより、コストの縮減を図るべきと考える。更に、立体駐車場が必要とされる期間は40年未満であり、耐用年数に基づく必要最低限の仕様にするにより、コストの縮減を図るべきと考える。一方、ZEB認証に向けた取組については、補助金を含めた費用対効果を踏まえ、可能な限り省エネ・創エネを推進し、ライフサイクルコストの縮減に繋げるべきと考える。</p>
11	新未来21 岡田美喜子	
12	新未来21 宮下知朗	<p>国交省の示す予算単価やLCC計算プログラムを活用し算定したものであり、現時点の目安額と捉えている。</p> <p>今後詳細を検討する段階において、コスト削減が図られるものと考えているが、「最小の投資で最大の効果」を得ることができるよう他市町の先進事例や民間ノウハウなどを最大限参考・活用しながら、経費削減に努めていただきたい。</p>

4 新庁舎の事業費及びライフサイクルコストに関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎の事業費及びライフサイクルコストに関する意見・要望等
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	市庁舎に限らず、箱物など建設コストの他に運用コスト・維持管理コスト・保全補修コストなどその後のライフサイクルコストが圧倒的に多くなる。現在地に必要であろう立体駐車場57台規模のコストについて、当局の前提は1台当たりの面積は40㎡で積算されているが、市営中央駐車場をみると25㎡が妥当であり、いま算出されているコストは高すぎるので参考見積もり等を入手し提示し直すべきである。
14	新風会 石井真人	北田町の配置計画④は、南二日町広場も含むすべての配置計画中で、庁舎建設費が約91億円と最も安い。さらに、既存の公共施設(市営中央駐車場269台、生涯学習センター・延べ床面積12,001㎡など)を活用し、仮設庁舎や立体駐車場を建設しなければ、総事業費を約95億円と抑えることができ、配置計画④は、すべての計画案の中で、総事業費もライフサイクルコストについても、最も費用がかからない計画となる。
15	新風会 横山雅人	建築坪単価150万円以内で。(社会情勢による値上がり分を考慮し1.5倍とした) 事業費は60億円以内で。
16	新風会 永田裕二	○再生エネルギーの活用などLCCの低減化を希望 ○設備のメンテナンス性の向上を設計に取り入れるなどLCCの低減化を希望
17	維新と無所属の会 弓場重明	今回の説明に、ライフサイクルコストを利用して場所を選定させようとしても、根拠にはなり得ません。あまりにも唐突で理解に苦しみますね。これで南二日町に決定したらこれはこれで、最初から決まっていたのではと、疑いの目で見られるのでしょうかね。
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	立体駐車場については「1. 新庁舎の整備予定地及び配置計画に対する意見」の通り。 ①一般的に建築物は、初期費用の3～4倍、事後費用がかかるとされており、資料もおおよそそのようになっていることから比較資料として、適当と考える。 ②北田町は相対的に高層、南二日町は相対的に低層であることを考えれば、資料の通り、ライフサイクルコストについて北田町の方が若干、高いことは理解できるため、こちらも比較資料として適正と考える。 勿論、このコスト削減の余地はあると考える。
19	日本共産党 議員団 服部正平	物価高騰が続いており、改めて事業費の算定をすべきであると考えます。
20	日本共産党 議員団 河野月江	今後の財政運営を考えた時、両候補地におけるライフサイクルコストの開き約49億～87億円という額は相当な判断基準になると考えるが、一方で、庁舎移転による経済的影響や浸水対策コスト、浸水被害による経済的ダメージ等のマイナス要因も考えられるため、やはり必要な検証をした上でのトータルでの判断が必要と考える。

5 新庁舎整備の基本方針に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎整備の基本方針に関する意見・要望等
1	改革みしま 藤江康儀	・財政難の三島市として更なる新庁舎建設費のコスト削減に臨むべき。何よりも商店街及び市街地が活性化する施策に期待する。 ・三島市のシンボリックな存在とし、また新たな全ての活動拠点としての発信基地的存在とすること。
2	改革みしま 土屋利絵	
3	改革みしま 古長谷稔	北田町(現在地)の跡地を、「中心市街地活性化に貢献する土地及び建物として利活用する」という、厳しい条件と審査の上で、柔軟な民間提案の開発に委ねて活かすことで、中心市街地活性化を大幅に促進できるチャンスにもなり得ると考えます。この点に関する、市民や商店街の皆様への説明や方針の示し方が、これまであいまいなまま議論を進めてきたため、これまで慣れ親しんだ馴染み深い市役所が、北田町から移転すると街が衰退してしまうのでは、という恐怖心が先行して、市役所周辺の商店街の皆様や自治会の皆様に広がってしまっているのではないかと感じています。この点、市として跡地の具体的な利活用方針も含めて、積極的な説明責任を果たす姿勢を強く要望いたします。また、ファシリティ・マネジメントを背景に施設を複合化・集約化する方針をまとめてきた経過が、市民にも新人議員にも浸透していないことが、議論が噛み合わない一因とも感じます。この点の改善も要望いたします。
4	改革みしま 沈久美	大社町および中央町の各別館、保健センター、社会福祉会館、高齢者いきがいセンターを統合する方針は良い。それぞれの跡地の有効利用に民間の力を。また、三島の歴史と伝統といった三島ならではの特性が伝わる建物が求められている。障がい者のアクセシビリティの充実、および子育て世代の利便性には格別の配慮を求めたい。そのために、当事者および有識者を含めた協議は丁寧に行う必要がある。
5	改革みしま 秋山恭亮	スケルトン・インフィルの施工をし、将来的に別用途に使いやすいよう検討をしていくことは大いに賛成である。駐車場についても北田町で建設する場合、一般利用も考慮した運営方法ができるような立体駐車場、縮小や改変が容易な建築方法を検討していきたい。
6	緑水会 野村諒子	新庁舎に、分館だけでなく他の機能も入れる方針であるが、分館と庁舎敷地内の機能だけにすべきと考える。 子どもの数の急激な減少が止まらないにも関わらず、学校の統廃合が議論されていないが、10年後は確実に学校数が減少せざるを得ない状況になっている。その場合、中心市街地の学校の数も減っていくものと予想される。 新庁舎の機能とは別に、保健センター、社会福祉会館、市民活動センター、子育て支援センター、シルバー人材センター、防災センター機能等を配置した廃校の跡地利用を促し、無料駐車場、ホール、会議室などを充実させたものを、建てることも検討すべきである。 新庁舎では、DXの推進とともに、コンパクトな庁舎にしていくことが求められる。
7	緑水会 佐野淳祥	キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 杉山大志氏が発表した記事によると、「1,000年に1度の洪水と呼ぶのは不適切だ」としている。N年事象は、固定値でなく、気候の変動と変化により時間とともに変化する。N年事象は、非常に短い気象記録に基づいて推定される。このように指摘している。当局は、広報でも議会や市民に対する説明でも、南二日町グラウンドは、「1,000年に1度の」と枕詞のように強調して、その危険度を矮小化しているが、それを理由に南二日町を有利にすることは危険だ。
8	緑水会 甲斐幸博	

5 新庁舎整備の基本方針に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎整備の基本方針に関する意見・要望等
9	緑水会 高田康子	<p>市役所に来る必要がない市役所のコンセプトを考えると、スリム化やペーパーレス、データ保存、窓口サービスのオンライン化等、今後の生活様式を考えたなら市役所のコンパクト化し、本当に必要な事に関しての将来を見据えた庁舎とまちづくりを考えると、広い場所でも十分だと感じます。</p> <p>また、市民より、憩いの場を提供して欲しいどの要望がありそれを踏まえたとありましたが、そもそも市役所は何をするところなのでしょうか？</p> <p>これからの「市役所に来る必要がない市役所」のコンセプトを考えたなら、矛盾を感じます。</p> <p>新たな島田市、焼津市、これから進める予定の藤枝市の事例や、良いところは取り入れ、無駄なところは省くなどを協議して欲しい。</p> <p>また、立体駐車場の懸念を心配いたしますが、沼津のような、一般利用も考え、庁舎用事のある方と一般利用の方の料金プランなど運営方法を考え、出すだけでなく、入る仕組みを念頭に検討していただきたい。</p>
10	新未来21 川原章寛	<p>金融機関や国・県等の公共施設、市政・観光情報コーナー、レストラン・カフェ、コンビニエンスストア等の導入は必要ないとする。先方が費用を負担するのであれば、出先機関等の導入を拒むものではないが、民業を圧迫するような業態のテナントは不要と考える。市民交流施設の必要性は感じるが、そのためだけに屋内スペースを活用することは経済的とは言えない。開庁時は会議室、閉庁時は市民交流スペースのような柔軟性が必要と考える。</p>
11	新未来21 岡田美喜子	
12	新未来21 宮下知朗	<p>概ね賛同するが、セキュリティやプライバシー確保、バリアフリー化など現時点において最低限求められている機能確保についても十分な配慮をお願いしたい。</p> <p>また、公共施設保全計画に掲げる新庁舎のコンセプト「市役所に来る必要のない市役所」を実現するためには、より積極的なDX推進が求められる。DX推進計画の着実な実行はもちろん、社会情勢を踏まえ、より一層強力に推進されることを期待する。</p>
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	<p>建物に関する検討。建物配置、ゾーニング等を検討して実現可能性の高いモデル案を複数作成し精査すること。事業手法の整理及び定性評価。公設公営、官民連携手法など。</p> <p>財政負担の軽減策を、多角的に検討する事が必要です。更にデジタル化に対応した建物構造やレイアウト変更しやすいフロア機能を導入する。その上で、基本的に来なくても良い市役所を目指していくが、その上で来庁された方が居心地のよさ。利用しやすい。安心安全、効率的、外国人のかたも利用しやすく。</p> <p>将来の人口減少を見込み。シンプル・ローコストに挑戦。</p>
14	新風会 石井真人	<p>三島市新庁舎整備に関するワークショップに参加した市民から意見にあがった「市民が集うDXを推進した庁舎」を整備の基本方針に盛り込み、土日も市民が利用できる施設として稼働率を上げる。市民の集まる市役所は、街中の商店街と連携を図り、中心市街地の活性化に寄与する施設につながる。</p>
15	新風会 横山雅人	<p>将来的な余剰空間を考えるなら初めから余剰空間を考えないで規模を縮小する。</p>
16	新風会 永田裕二	<p>○市民から求められるニーズの変化や多様性に対応できるよう可変性・拡張性のある整備を希望</p> <p>○華美な装飾、意匠は、不要</p>
17	維新と無所属の会 弓場重明	<p>基本方針は三島市総合計画に乗っかってお考えになると良いと思います。</p>

5 新庁舎整備の基本方針に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎整備の基本方針に関する意見・要望等
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	基本方針にあたるか、わからないが、「1. 整備予定地・配置計画」「2. 事業費及びライフサイクルコスト」の項で明記したように、資金計画にまだまだ改善の余地が沢山あることから、最大50億以上の金額差があることを理由に、現段階で南二日町に候補地を絞るべきでない、と考える。
19	日本共産党 議員団 服部正平	○基本方針では北田町もしくは南二日町広場とされているが、基本とすべき市民意見が十分反映されているとは言い難い。今後パブリックコメントの内容を踏まえた更なる検討が必要であると考えます。
20	日本共産党 議員団 河野月江	整備候補地が現在の2ヶ所に集約された過程が非常に見えにくい。それ以前の候補地選定、検討の段階でどれほどの市民意見を聴取したのかには疑問が残る。

6 新庁舎に備えるべき機能に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎に備えるべき機能についての意見、要望等
1	改革みしま 藤江康儀	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の司令機能及び有事に転用可能な会議室等 ・市民利用スペース等を検討する。(会議室・ワーキングスペース) ・将来の変化に柔軟に対応できること。(少子高齢化・職員数等)
2	改革みしま 土屋利絵	土日開放できる空間をつくるべき。さらに夜間は他の転用を考えていくことが必要。
3	改革みしま 古長谷稔	<ul style="list-style-type: none"> ・土日や夜間にも市民が気軽に使える部屋やスペース、駐車場などを確保すること ・将来の多目的利用に耐える構造 ・災害時の拠点としての機能(水害時、地震時、その他災害時を想定) ・公共交通からのアクセスを新たに配慮すること ・可能な限り展望機能を持つ屋上や最上階の構造とすること
4	改革みしま 沈久美	地下シェルター、災害本部機能、地域伝統芸能スポット、市民交流スペース、無人コンビニ、議場兼用貸ホール(分割して会議室としても使える、バリアフリー、母子室)、屋外イベント広場、緑化エリア
5	改革みしま 秋山恭亮	<p>市役所に来るのは年1~2回という市民が多い。この数字は、市役所はなくては困るが、頻繁に市民が訪れる所ではないといえる。「市役所にだけ行くのではなく、何かのついでに市役所の用事も済ませる」という機能が求められると考える。</p> <p>商用スペース(買い物)、ワークスペース、観光施設、市民のイベントスペースなどを内包した総合的な建築物が持続可能な市役所のモデルになっていく。そのためには、Wi-Fi・スマートロックによる施設利用・WEB(メタバース含む)環境による利用利便性等の機能は最低限必要である。</p> <p>また、メタバースを積極的に取り入れていきたい。建築の検討時からメタバースを利用し、メタバース上の建築を進め、トライアンドエラーを繰り返し検討する。その後実際に建築をし、メタバース上の新庁舎とリンクさせた運用を行う。この場合、無人化による365日24時間利用が可能なサービス(住民票・印鑑証明など)も実装可能であろう。このような建築運用が可能な時代である。実際DNP(株)が建築データを基にリアル施設と並行してメタバースを構築し、多様な企業コミュニケーションを支援するサービスを開発している。</p> <p>いずれにせよ、市民が来庁して(バーチャルにおいても)「用が済む」「便が良い」施設であることが求められる。</p>
6	緑水会 野村諒子	<p>必要ないもの 食堂、(県内の庁舎では、機能しているところがほとんどない。浜松市も廃止している)</p> <p>必要なもの コンビニ、市民も使える飲食できるフリースペース。(待ち合わせ、簡単な打ち合わせなどにも利用できる) 可動式壁の会議室を多く。お悔みコーナー、転入、転出コーナー、ATM、コンビニと同じ無人書類発行機械</p>
7	緑水会 佐野淳祥	
8	緑水会 甲斐幸博	
9	緑水会 高田康子	<p>オストメイト対応など、障がいのある方が使いやすい様なトイレや災害時に使えるトイレ(マンホールトイレ以外!!!)</p> <p>災害用備蓄庫 お悔やみ課 全て一室でまかなえるようにして欲しい。 コンビニにあるような、無人書類等発送機など また、ご高齢の方や障がいのある方が来た場合、ひとつのところで用事が足りる様な課を希望します。</p>

6 新庁舎に備えるべき機能に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	新庁舎に備えるべき機能についての意見、要望等
10	新未来21 川原章寛	閉庁時にも利用が可能な市民交流スペース・会議室・トイレが必要と考える。
11	新未来21 岡田美喜子	
12	新未来21 宮下知朗	業務時間外でも市民・団体が利用することのできる会議室・打合せ・休憩スペース
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	コンパクト。利用の少ない機能を統合から外す。
14	新風会 石井真人	新庁舎は、「職員の中心の機能を備えた市役所」から「市民の中心の市役所」という未来型の市役所に転換するため、備える機能としては、三島市新庁舎整備に関するワークショップに参加した市民からの意見であがった「お困りごとを何でも気軽に相談・解決できるワンストップ窓口、手続きの間に子供が遊べるキッズスペース、土日もオープンで利用可能、水や歴史文化の情報発信、災害時の拠点、地域の農家と連携した食堂、まちの情報案内、世代を超えた交流の場、みんなで集まって未来を話し合う場、まちなかの交通との連携」など、市民の声を踏まえた「市民が集まりたくなる・利用したくなる」機能を多く備えた市役所
15	新風会 横山雅人	駐車場利用状況の確認システム(スマホで混雑状況が確認できる)
16	新風会 永田裕二	<ul style="list-style-type: none"> ○災害発生時の拠点機能 ○民間事業者の活用スペース(食堂、売店等) ○大場川の流域治水機能 ○観光バス等駐車場整備(えびす参道への誘導) ○可変性と拡張性(緑地等整備)
17	維新と無所属の会 弓場重明	基本方針は三島市総合計画に乗っかってお考えになると良いと思います。
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	総合窓口の充実。 スペースがあるのであれば、これまでになかった市民スペース、民間利用スペースも備えるべきと考える。
19	日本共産党 議員団 服部正平	○環境、防災、多様性(プライバシー)、交流機能 他、市民・職員への配慮を兼ね備えた機能。
20	日本共産党 議員団 河野月江	市民活動の交流機能は必要であるが、貸し会議室等で対応することに留め、いまある施設の有効活用を図る方向で検討すべき。

7 跡地等の有効活用に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	跡地等の有効活用についての意見・要望等
1	改革みしま 藤江康儀	<p>・現在地(北田町)の跡地利用を考えるならば、市内活性化の起爆剤となるような仕掛けが必要である。例えば北田町跡地を商業施設+マンションとして定住人口を増やす。NTT跡地等、税金を投入して大型バス等の商業用駐車場及び商業施設等整備して充実施策により更なる市内活性化を図るなど。</p> <p>・基本的には「3 新庁舎の基本方針」の通り</p>
2	改革みしま 土屋利絵	<p>本庁舎以外の跡地は売却することで、事業費をねん出していかなければならないと考えます。跡地ではありませんが、南二日町グラウンドはただのグラウンドにしておくのはもったいないので、街づくりのために有効利用を考えていくことが必要に思います。</p>
3	改革みしま 古長谷稔	<p>現在地(北田町)の跡地を、中心市街地の活性化のために、三島市として「新たなコンセプトをもって利活用する」という大前提が必要不可欠と考えます。LCCの差額を、現在地の利活用に生かす原資に充てる検討も必要です。スマートプランニングでは、北田町の跡地の有効活用による、まちづくりへの効果の分析結果をよりわかりやすく市民に説明して、北田町の跡地の有効活用に関する可能性調査、分析を積極的に進める必要があると考えます。その上で、中央町別館など周辺の跡地とも連動した面的な有効活用も模索すべきと考えます。</p>
4	改革みしま 沈久美	<p>保健センター、社協、いきがいセンターの跡地は売却か民間活用。 大社町別館と中央町別館は、一方を多目的屋外イベント広場か緑地として市が保有。他方を観光協会が使えるようにする。</p>
5	改革みしま 秋山恭亮	<p>【北田町に建設した場合】 跡地は大社町別館、中央町別館、社会福社会館、高齢者いきがいセンター、保健センター、各コミュニティ防災センターとなる。現在の情報や状況的に宅地としての売却でよいと考える。大社町別館は買い手がつけば、建物を含めた売却がベストだと考える。また、いずれにせよ南二日町グラウンドは借地の問題を解消することが求められる。どうしても解決しない場合は、長伏等にグラウンドを移すことも検討されたい。</p> <p>【南二日町に建設した場合】 上記に追加し、北田町現在地が跡地となる。ここは観光施設・商用施設としての利用を検討したいが、ファシリティマネジメントや運営手法を考えた場合、相当のハードルがあると考え。となると民間経営の施設となるが、真に三島市の街中のにぎわいの創出ができる施設となるよう、共創での運用が望ましい。事業として難易度が高い、民間運営とする場合、赤字を出さない施設としなければならないというハードルがある。</p>
6	緑水会 野村諒子	<p>庁舎跡地だけでなく、小中学校の統廃合の跡地利用も含めて、公共施設をどうあるべきか議論すべき。 商業施設の検討も必要である。 跡地利用は、市民の意見を時間をかけて、聞いていくべきである。(あて職委員だけでなく、近隣住民だけでなく、無作為抽出の市民の意見を伺う。)</p>
7	緑水会 佐野淳祥	<p>跡地の有効活用について、まちづくりの観点から考えれば、南二日町に移動した場合の現在地の跡地のみスマートプランニングで計画するのではなく、サッカー場は暫定的な使用目的であり、南二日町が新庁舎の候補地になっている以上、また長伏公園に総合運動場を整備する予定があることから、現在地が選択された場合の南二日町グラウンドの利活用を合わせて考えるべき。また「1 新庁舎の整備予定地及び配置計画」にも記載してある通り、南二日町グラウンドは国道1号線、国道136号線、伊豆縦貫道路を經由した東名高速道路ならびに新東名高速道路にも近接している結節点なので、利益を生まない市役所よりも、別の施設の方が市税増加に貢献するはずである。</p>
8	緑水会 甲斐幸博	

7 跡地等の有効活用に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	跡地等の有効活用についての意見・要望等
9	緑水会 高田康子	三島にはホームセンター等の商業的な施設が乏しいと感じます。 三島市民は他市町へ休日出掛けています。 それを考え、国道1号線沿いの立地を生かし、三島市民もさることながら、三島市以外の方々の集客のできる場所を確保することが、三島市の税収の増加に繋がるのではないかと。 大型ショッピングモールなど、他市町の賑わいを考えると、三島市に必要不可欠だと思われます。 南二日町は、借地料のかかる場所です。 自ら借地料のお支払のできる施設や、三島市の小売店と被らないような商業地を希望いたします。
10	新未来21 川原章寛	南二日町広場については、借地が解消されないのであれば売却し、代替地におけるグラウンドの再整備が必要と考える。 中央町別館については、三嶋大社の駐車場と等価交換、若しくは貸借し、大型バスを中心とした駐車場とし、三嶋大社の駐車場に『おかげ横丁』のような民間商業施設を誘致し、回遊促進に繋げるべきと考える。 社会福祉会館については、低層階を商業用に限定する中で売却すべきと考える。 大社町別館については、新庁舎の規模を圧縮するため、当面は、公益的な関係団体等の機能を導入し、新庁舎のスペースに余裕が生じた時点で統合し、低層階を商業用に限定する中で売却すべきと考える。 高齢者いきがいセンター及びコミュニティ防災センターについては、住宅用地として売却すべきと考える
11	新未来21 岡田美喜子	・大社町別館には、庁舎のサテライトオフィスや公民館機能を持たせ、市民の利便性を確保する。(市役所はなかなか行かないけれど、公民館はよく利用するとの市民の声あり) ・子育て支援センターや高齢者の居場所等、市民が気軽に集える場所 ・高校生や大学生が集える場所 ・歴史文化の承継(山車の展示等) ・まちなかに休日にも利用できるユニバーサルトイレの設置
12	新未来21 宮下知朗	跡地の有効活用は、本市の持続的発展に重要な役割を果たす可能性が高いものと考えており、現時点において様々な可能性について調査されていることに大いに賛同する。 なお、南二日町広場においてはグラウンド機能の移転ができれば、使い次第で中心市街地の跡地活用以上に市域発展に寄与する可能性があるものと考えことから、中心市街地の跡地活用に加えてその可能性についても今後示していくべきと考える。
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	特になし。
14	新風会 石井真人	将来、南二日町広場については、昨今の増加する大雨洪水被害を軽減する上でも、大場川の流域治水のための施設として、国や県と協議する中での追加機能を考える必要がある。
15	新風会 横山雅人	北田町本庁跡は観光拠点として活用を。南二日町はそのままグラウンドとして活用する。他はすべて売却する。
16	新風会 永田裕二	○商業施設、高層マンション等の誘致により、北田町周辺の不安を解消 ○しゃぎり会館等、観光施設

7 跡地等の有効活用に関する会派・議員の意見

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	跡地等の有効活用についての意見・要望等
17	維新と無所属の会 弓場重明	無し。
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	跡地が発生する仮定だが、住居でなく、三嶋大社と関連した文化施設や観光施設。
19	日本共産党議員団 服部正平	地域経済を活性化させる。
20	日本共産党議員団 河野月江	候補地による跡地の条件の違いが、今後のまちなかりノベーション計画の進め方にどう影響を与えていくかについてさらに注目したい。

8 その他の会派・議員の意見・要望等（事業手法や災害対策に関するものも含む）

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	その他の意見・要望等(事業手法や災害対策に関するものも含む)
1	改革みしま 藤江康儀	<p>1. 北田町案選定の条件としての周辺整備、他を要求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは立体駐車場の再考(高齢者には苦痛である)、建設コストの削減(50億円程度の差は大きい) ・建て替えにより三嶋大社への参拝経路の再考 ・北田町案周辺整備、近隣の住宅及び敷地等買収により駐車場、他として利用するため。 ・建て替えにより商店街の活性化施策の充実 <p>2. 南二日町案選定の条件としての周辺整備を要望要求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南二日町広場周辺の道路整備(朝晩の交通渋滞緩和策、国1との接続により機能の充実など)。加えて三島市保健センター方面から南二日町広場内まで道路を延長して渋滞緩和策等を検討 ・第二放水路等の整備により、嵩上げしなくてもよい方法などの検討 ・南二日町広場周辺の家屋等の買収により有効敷地の利用を考える。(南二日町広場周辺の薬屋・アパート・美容院等) ・借地を敷地内で権利変換することにより借地料の負荷を消滅させ、さらに有効利用を考える。(例えば職員専門駐車場として、職員と直接契約させることにより借地問題を解決することができる。)と考える。 ・建設時サッカー場をそのまま利用できるようにする。加えて、ゲートボール、グラウンドゴルフ等と共用できるようにすること。 ・また、新たに敷地内の河川敷地にサッカー場等を新設する等
2	改革みしま 土屋利絵	<p>これから災害が頻繁に起こってくることを考えると、浸水区域に庁舎を建てることは慎重に行うことは大切に思います。こんな災害は初めて起こる、という声も各地で聞かれ、想定外も毎年のように起こることも十分考慮しながらの建設地の検討が必要に思います。</p>
3	改革みしま 古長谷稔	<ul style="list-style-type: none"> ・南二日町広場では、水害時の不安を訴える声があるが、内水の増水による内水被害、大場川の洪水による外水被害など、水害にも色々な想定があるので、各想定に対する被害想定及び安全性を、きちんと整理して説明する必要があります。丁寧に説明すれば、市民理解は得られると考えます。積極的な説明の姿勢を要望いたします。 ・南二日町広場は、広さから考えても、⑤と⑥とを80年ごとに交互に利用していける可能性もあり、有効と考えます。土地の少ない三島市にあっては、将来構想を現時点でもつことも必要ではないかと考えます。
4	改革みしま 沈久美	<p>過去の資料などが整備事業の足枷になっているように感じる。もう一度、市民アンケートができないか。候補地を問うのではなく、庁舎で何ができるか、何をしたいかを集約できるアンケート内容が必要である。</p>
5	改革みしま 秋山恭亮	<p>【事業手法】 この建設事業は今後の管理運営も含めてPPPの採用を大いに検討すべきである。前述したが、市役所に複合的な機能を持たせる場合、市の職員・業務委託での運用管理は非常に困難である。</p> <p>【災害】 南二日町に建設した場合、どうしても浸水想定地域であることが危惧材料になる。盛り土をすることによる周辺地域への影響(風評含む)、市役所のみ水につからなくとも陸の孤島化しないか… ただ、震災時にも比較的市街地に近い南二日町に広い土地を持った市役所があることはメリットになりえる。 また、北田町に建設した場合は、緊急車両・物資運搬車両の導線も考慮すべきである。(緊急時の車両導線の想定) ライフラインが途絶えた場合の高層階への影響であるが、高層階は災害時には利用しなくてもよい施設設備の検討は必要。</p>

8 その他の会派・議員の意見・要望等（事業手法や災害対策に関するものも含む）

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	その他の意見・要望等(事業手法や災害対策に関するものも含む)
6	緑水会 野村諒子	<p>PFI方式は、企業にとってメリットがないので導入はできないと思います。</p> <p>庁舎は公設公営で運営し、著名な建築家、設計士にこだわるより、使いやすい機能性重視の方が良いと思います。</p> <p>国の交付金を取得するために、国が目指す環境に配慮した建築物として、内部の木材の仕様、効率的なエネルギーの使い方等、交付金の対象となるやり方を研究していただきたい。(例 兵庫県伊丹市など)</p> <p>水害等、災害に強い場所につくるべき。</p> <p>庁舎建設をきっかけに、今後も幅広い市民の意見を取り入れて「庁舎を中心とした三島のまちをどうするか」という機運を盛り上げていきたいと思っています。</p> <p>庁内の組織の数が多いと、それだけ職員数、机の数も多くなりがちだと思います。これから力を入れるものについては(例:子ども関連など)職員を手厚く配置するなどしても、兼任できる組織は統廃合するなど組織を整理することで職員数を減らすこともできるのではないかと思います。</p> <p>また、民間に任せられるサービスは民間に移行することも検討すべきかと考えます。</p> <p>直接庁舎建設とは関係ないものの、人口の急激な減少により新生児の数が極端に減ってきています、学校統廃合も検討すべき時期に来ていると感じます。10年後、15年後を見据えた議論の中で、今回新庁舎へ統合しようとしている社会福祉会館などの庁舎以外の機能をどこに配置すべきか、配置できるかも一緒に議論していくべきと考えます。</p>
7	緑水会 佐野淳祥	
8	緑水会 甲斐幸博	
9	緑水会 高田康子	<p>考え方ですが、御殿場市など市民に解放している展望フロア等が多くある場合は新庁舎の利用も増え、駐車場も必要となってきます。駐車場の台数や立体駐車場の議論も大切ですが、庁舎に何を入れるか、何を整備するかで来る人たちのニーズも変わってきます。市民サービスを今度どのようにしていくか等、今のままの市役所運営サービスで良いのか考えないと次には進めない。</p> <p>上でも述べましたが、一番は職員の皆様の働きやすさ、職員の皆様がどちらが良いのか、また、何が欲しいのか等の意見は働く現場を一番知る者が一番良くわかっていると思います。</p> <p>まずは、職員の方々のご意見をお聞きし、その上で色々練って欲しいと思います。</p> <p>くれぐれも、職員の皆様の人権やお考えが曲がらないようにしていただきたい。</p> <p>このような、新庁舎の立て替えなど早々あることではありません。</p> <p>だからこそ、働き方改革等が叫ばれている今、より良いご意見を広く聞き、聞く耳をもって、進んでいって欲しいと希望いたします。</p>
10	新未来21 川原章寛	<p>南二日町広場を整備地とする場合には、近隣地域の水害リスクを解消するため、抜本的な治水対策を実施すべきと考える。また、グラウンドやサッカー場は統廃合せずに、代替地を確保の上、同等の規模・機能の施設を整備すべきと考える。</p> <p>現在地(北田町)を整備地とする場合には、市民文化会館・生涯学習センター・箱根の里等を活用し、仮設庁舎の規模を圧縮し、建設費の縮減を図るべきと考える。</p>
11	新未来21 岡田美喜子	

8 その他の会派・議員の意見・要望等（事業手法や災害対策に関するものも含む）

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	その他の意見・要望等(事業手法や災害対策に関するものも含む)
12	新未来21 宮下知朗	<p>・移転に伴い間接的に発生する可能性のある費用については、それも含めて判断すべきと考える。</p> <p>北田町:仮設庁舎への引っ越し、市営駐車場の耐震補強工事 南二日町:グラウンド機能移転、公共交通(バス)路線整備、浸水対策、周辺道路整備</p> <p>・将来的な削減余地(駐車場極小化や余剰スペースの活用)のほか、新たな収益確保(貸駐車場や貸会議室)の可能性についても今後詳細を検討するなかで検討いただきたい。</p> <p>・今後庁舎および駐車場規模など、詳細を検討していくにあたっては、来庁目的および所要時間などをより詳細に調査することが適正な規模を検討するための基礎資料として重要な指標になるものとする。</p>
13	公明 鈴木文子 堀江和雄 村田耕一	<p>市民アンケートの要素は重要な要素であるとする。市庁舎へ訪れる頻度もまちまちである事から。約9割のかたは、数ヶ月、1年、数年に一度の来庁である事。</p> <p>残りの約9%の来庁頻度の高い方が、なぜ来庁頻度が高くなるのか。内容を詳しく見る事で、来庁頻度を下げる事ができるのではないかと考える。来なくても良い利用方法へのアドバイス。その上で駐車場が混雑とのご意見をどのように捉えるか。</p> <p>利用される目的は、戸籍・住民・印鑑等の登録や証明に関する事83.6%・医療・介護・子育てなど福祉に関する事22.2%、国民健康保健・国民年金に関する事20.7%、これらの目的が9割である為、1階フロアに最低限配置する。</p> <p>1カ所に統合したほうが良い場合と、統合する必要のない施設に優先順位をつける事が必要と考える。</p> <p>その上で役所をできるだけ早期に1カ所に統合したほうが良い64.6%をどのように考えるか。</p> <p>市民の声、利用者アンケートの正確な道を探る必要があるのではないかと考える。</p> <p>※日立市役所(2017年から共用開始した)。防災拠点の充実が基本方針のひとつであったにもかかわらず、2023.9.11に市役所の前の川があふれ庁舎の地下に流れ込み電源設備が水につかってしまった。この事により、災害対策本部は市役所から消防本部へと移される事に。原因究明が待たれるが、常にリスクが孕んでいる事の証拠と考える。</p>
14	新風会 石井真人	<p>既存の施設を活用して、新庁舎建設費のコストを極力抑え、伊丹市のように市民の意見を取り入れた未来型の庁舎を作るためには、柔軟な発想ができ、大型施設建設の経験や建築設計の専門知識を有した職員が中心となって、市民と共に考える事業を推進する体制を整える必要がある。</p> <p>市民の意見を取り入れながらの職員主導の事業推進体制が整えば、新庁舎建設の際にも、民間事業者任せにならず、事業に関わる様々な費用をシビアに見ることができると、結果的にトータル費用のコストダウンにつながる。</p>
15	新風会 横山雅人	<p>新庁舎までの往復直行便を市内全域に配備する。</p>
16	新風会 永田裕二	
17	維新と無所属の会 弓場重明	<p>資料としては、数値も大事だが、各候補地のプラス面とマイナス面を併記して、特に災害対策は必要ですね。</p>
18	維新と無所属の会 本間雄次郎	<p>冒頭の通り、30年後を基準に建て替えを推進するのではなく、この苦境の時代、無駄遣いせず、できる限り現庁舎で耐えて、一年でも五年でも長く使うべき。</p> <p>時間をかけて議論をし、最小限の新庁舎がいずれ完成されることを望む。</p>

8 その他の会派・議員の意見・要望等（事業手法や災害対策に関するものも含む）

会派・期数・年齢順
令和5年10月16日現在

No.	会派・議員	その他の意見・要望等(事業手法や災害対策に関するものも含む)
19	日本共産党 議員団 服部正平	南二日町広場の選定においては浸水地域であることを踏まえて、周縁地域含め地質などの検証が必要である。
20	日本共産党 議員団 河野月江	特になし